

山常庭 大和には やまとには 大和には	村山有等 群山あれど むらやまあれど 多くの山があるが	取與呂布 とりよろふ とりよろふ その中でも	天乃香具山 天の香具山 あまのかぐやま 天の香具山に	騰立 登り立ち のぼりたち 登り立って	國見乎為者 國見をすれば くにみをすれば 國見をすれば
國原波 國原は くにはらは 國原は	煙立龍 煙立つ立つ けぶりたつたつ 煙が立ち上る	海原波 海原は うなはらは 海原は	加萬目立多都 かまめ立つ立つ かまめたつたつ 鷗が飛び立つ	怜※國昔 うまし國ぞ うましくにぞ いい國だ	蜻嶋 蜻蛉島 あきつしま (枕詞)
八間跡能國者 大和の國は やまとのくには 大和の國は					万葉集 卷一 2 舒明天皇
(※は『りっしんべんに可』で表現不能)					